



溝口の街と共創する 取り組み報告 2020

環境にやさしい施設をめざして

2020年10月28日
ノクティプラザ×マルイファミリー溝口

おかげさまで、ノクティは、
今年で開業23年目を迎えました。



ノクティの成り立ち 溝口駅周辺の発展と地域貢献を目的に開業

20年間で4億4千万人来店（1日当たり6万人）

23年前にオープン

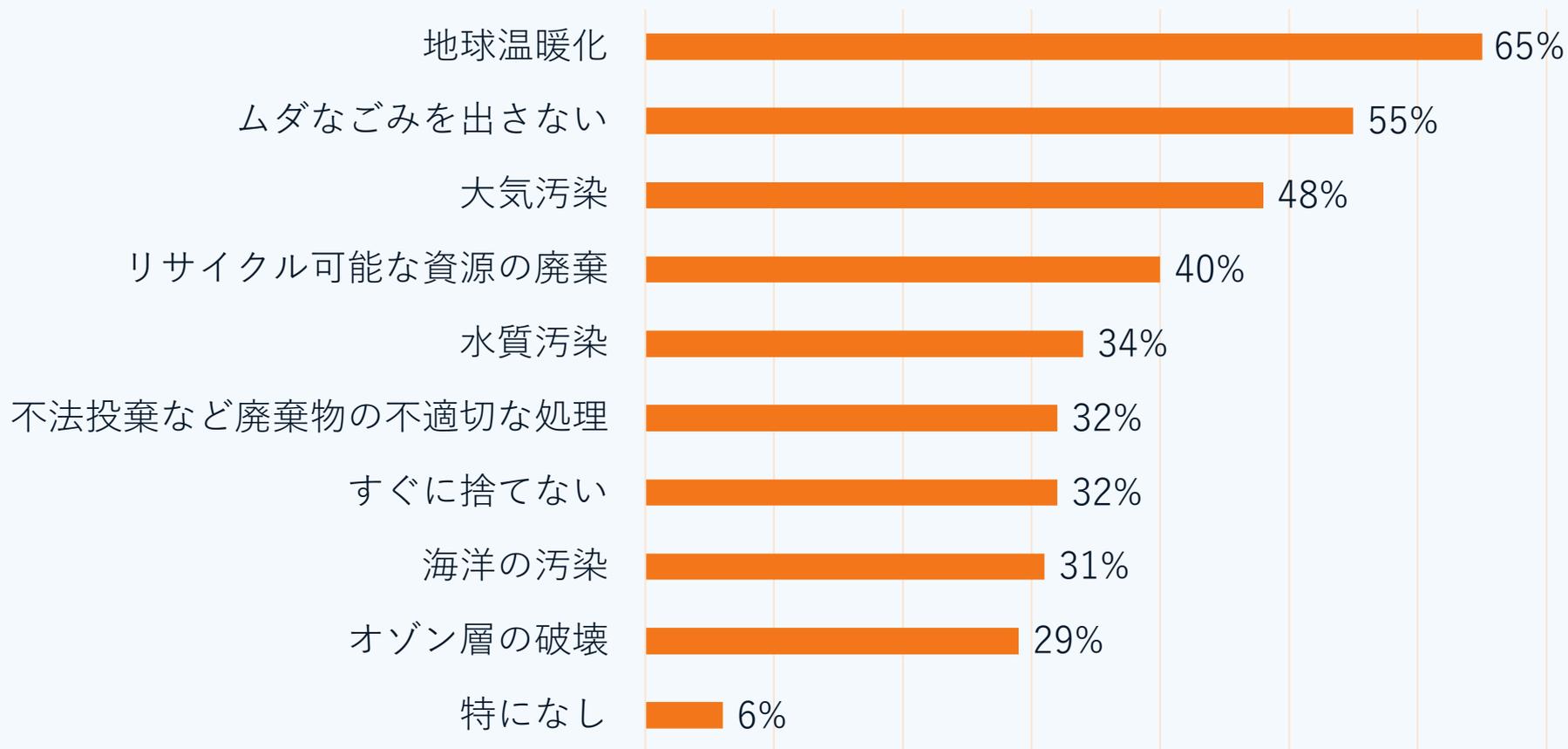
3年前に20周年

約50年前に地元と川崎市

本格的に話し合い開始

(参考) 環境への関心が高いお客さま

集計485人 (10~70代利用者)





ノクティ環境テーマ

「みんなで地球を守ろう！」

一人ひとりができることを
考え行動しよう！

その1

その2

その3

CO2排出量 2013年度比	めざすところ	地球温暖化	ごみ（資源）	生物多様性
		電力使用量	資源化率	屋上利用
2022年 85%減	川崎市の中での牽引役 ノクティに関わる全ての方々と一緒に 再生可能エネルギー100%利用	30%減 2013年度比	90%	11万人
2019年 15%減	取り組みの習慣化と見える化 マルイ・テナントの方々と一緒に	15%減	80%	10万人
2017年 10%減	(これから) 環境に配慮しないこと＝存続を脅かす要因 (これまで) 環境に配慮していること＝付加的な価値	10%減	30%	9万人



その1

電気の「ムダづかい」をやめて地球温暖化対策

? ノクティで使う 1 日の電気の量は？



7年前



昨年



4人世帯

? ノクティで払う1カ月の電気代は？

4,100万円



7年前

2,700万円



昨年

11,000円



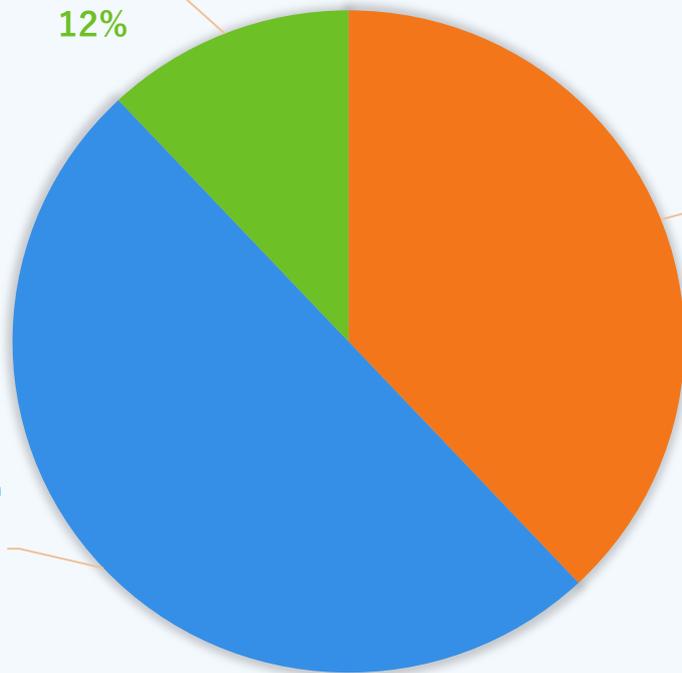
4人世帯



ノクティで使う電気は何が多い？

電気の使用割合

その他
12%



売場や看板
など照明系
38%

エアコンや
エスカレーター
など動力系…



エアコンを新しく変えたり、
冷暖房を効率よくするインバータを設置。



4年後までに、400台を超える大小のエアコンを
省エネルギー化し、使う電気を減らしていきます。



水、太陽光・風などの自然エネルギーを利用して温暖化ガスの出す量をゼロに。



マルイファミリー溝口は2020年度から、ノクティプラザは2021年度から、自然エネルギー利用100%に。



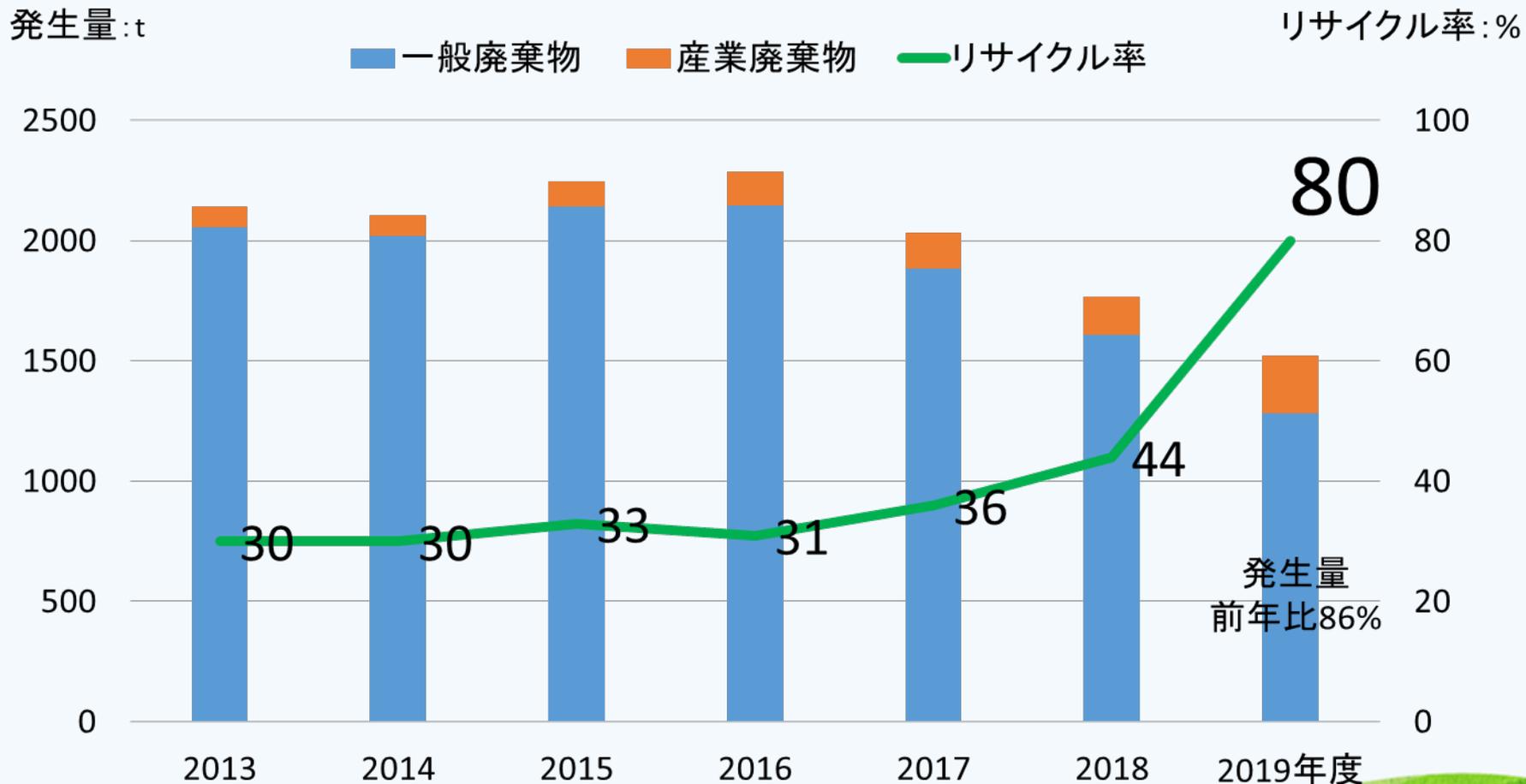
その2

ごみは「仲間に分けて」
捨てるリサイクル





ごみ量とリサイクル率の移り変わり リサイクル率100%目指して活動中です。



? ノクティで1日に出るごみの量は？



7年前



昨年

3~4Kg



4人世帯



ノクティのごみ処理にかかる 1ヵ月間の費用は？

330万円



7年前



260万円



昨年

多くは税金で
負担



4人世帯

? ノクティのごみのリサイクル率は？

ダンボール・ビニール・ビン・カン・ペットボトル・発泡スチロールなど

50%



約3分の1は食べ物の
ごみ

30%



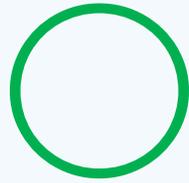
燃やすごみ

20%





ごみ処理の運用を革新して、17品目に分別、それを手伝うスタッフもいます。



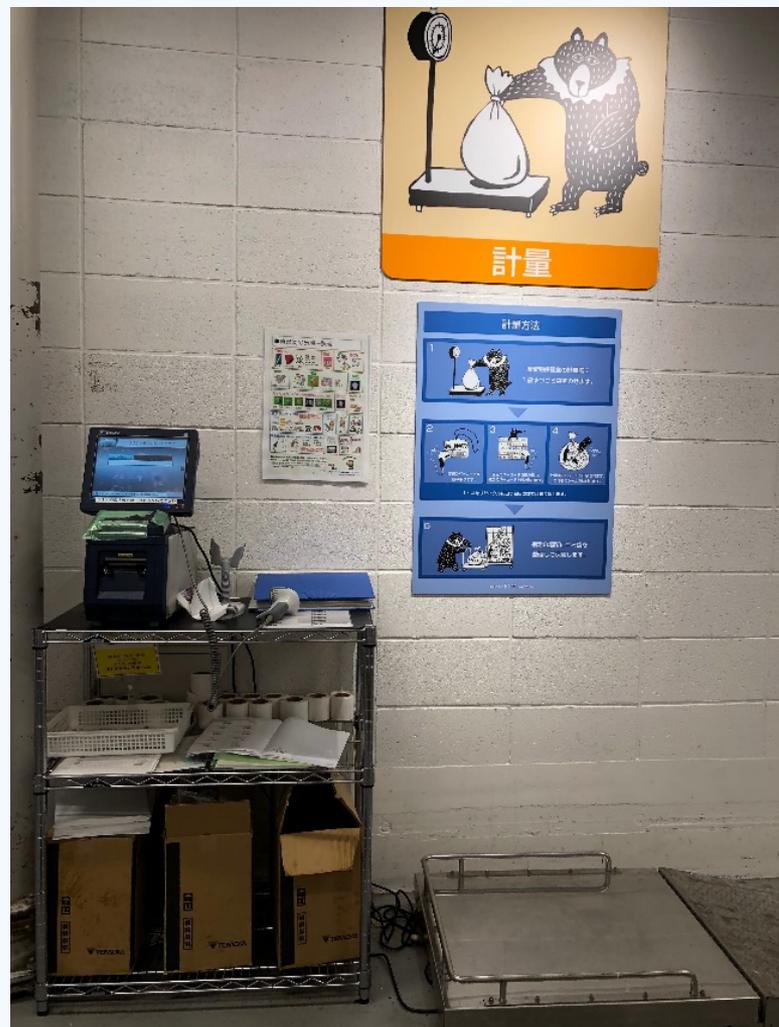
現在



以前



また、テナントごとの種類別計量やデータ管理でリサイクルを進めています。





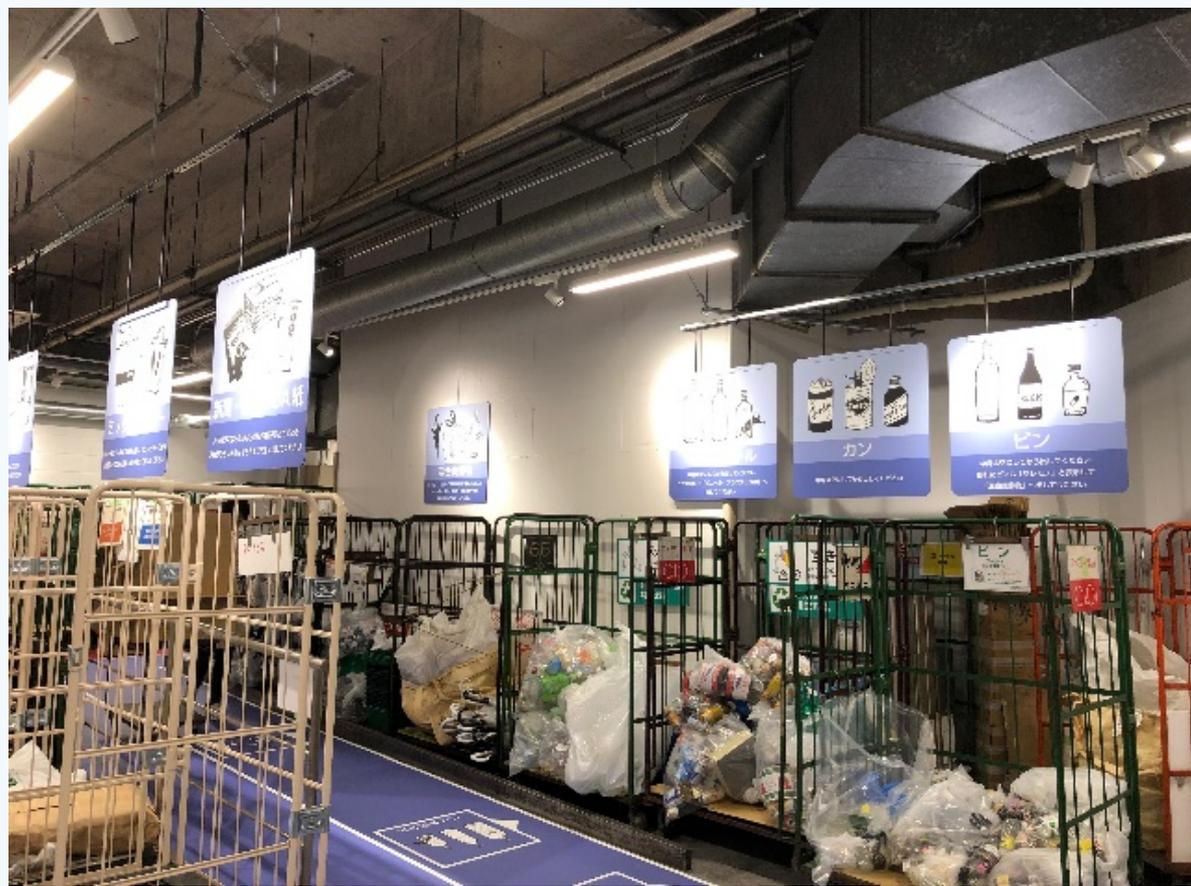
処理施設は名称を「エコファクトリー」としてリニューアル、



この場所が、カラフルで楽しい時になるように、そしてみんなの一步で花や水、森がふえる事を願って…

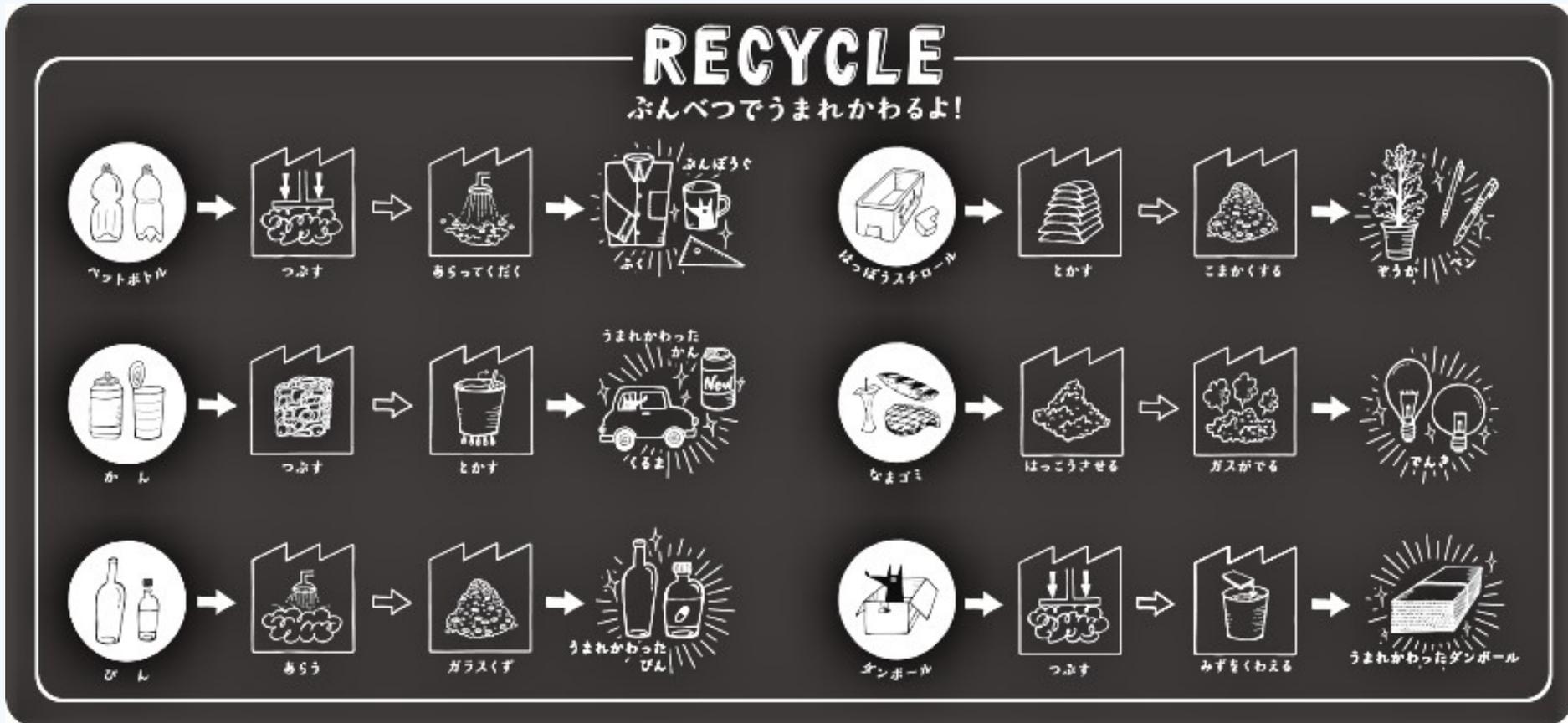


分かりやすい導線や案内表示など誰もが安心して分別できる環境を整えました。





ごみが分別されて新しいものに生まれ変わる過程もイラストで表現しました。





新設した生ごみ分別室は、夏場でも悪臭が漂わないように工夫をし、



水切りの徹底…生ごみの約7割は「水分」です



排出した生ごみは、メタン発酵により
電気・都市ガスに生まれ変わります。





また、食べ残しをできるだけ減らすよう、飲食店を「食べきり協力店」登録、



「ご飯・麺を少なめにしてほしい…」といったお客さまの要望に対応しています。



年2回のお客さま参画型の「食べきりイベント」を開催しています。



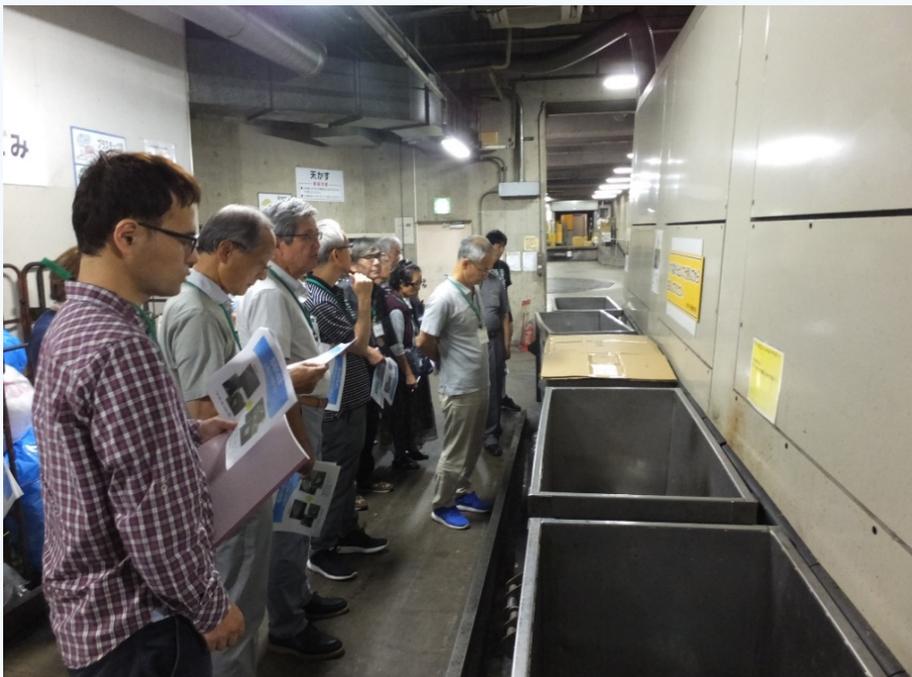


また、テナント店長会で、ごみの見える化・見せる化し意識向上につなげ、





地元や未来世代とともに、「これから」を一緒に考えていきたいと思えます。





そして、この度、廃プラスチックの製品化に向けて実証実験に参加します。

(川崎市プラスチックマテリアルリサイクルモデル構築調査事業)

排出

ノクティ
他商業施設



回収

都市環境
エンジニアリング(株)



再生

エム・エム・
プラスチック(株)



製品化

花王(株)



川崎エコタウン構想

川崎市

全体計画

双日(株)

※現状 固形燃料化





その3

守ろう！生物多様性
屋上緑化で地元と絆づくり





活動のきっかけとなったのは
溝の口にある歴史文化と、



残されている多くの自然を伝えたい
という想いです。



また、調査で屋上に多くの生き物が暮らしていることがわかりました。

メジロは、パークシティで若鳥を含む群れ確認され、緑量が増えれば、ノクティブラザも行動圏に含まれる可能性が有る。

スズメは、全域で確認され、宗隆寺では、ハラビロカマキリの幼体を食べる様子が観察された。芝生エリアが広がれば、利用する可能性が高いと思われる。



シジュウカラ ju



メジロ ju



ハラビロカマキリを捕食するスズメ



ヒヨドリ

2) 昆虫類 22科42種

全体として、中野マルイや北千住周辺の生息種数をやや上回る程度であり、環境ポテンシャルは同等程度と推察されるが、主に樹林地を利用する種が中心である。

トンボ類では、シオカラトンボ、ウスバキトンボが観察されたが、シオカラトンボは、屋上広場でも確認されている。

カマキリ類では、ハラビロカマキリが宗隆寺で確認され、市街地でも生息しているものと思われる。

バッタ類では、オンブバッタ、ショウリョウバッタの2種類が確認された。

セミの仲間は、アブラゼミ、ミンミンゼミがすべての緑地で確認され、ツクツクボウシはニヶ領用水以外で、クマゼミはパークシティのみで、ヒグラシは久本神社のみで確認された。

チョウ類では、アオスジアゲハが全域で確認され、ナガサキアゲハも3カ所の緑地で確認された。また、ムラサキシジミ、ウラギンシジミなど、樹林地型のチョウ類が記録された。

コウチュウ類では、フンコロガシの仲間のセンチコガネが観察され、コガネムシの仲間のコアオハナムグリやシロテナハナムグリが、カクレミノの花で採食する様子が観察された。

ハチ類は、科名種が確認され、ツチバネの仲間が3種、スズメバチの仲間が2種確認された。



シオカラトンボ



センチコガネ



ヒメハラナガツチバチ



ツクツクボウシ



アブラゼミ



ミンミンゼミ



コムシジ



キマダラセセリ



ムラサキシジミ



イチモンジセセリ

専門家による調査レポート



人間と生き物が上手に暮らしていく
ための活動と、





地域との交流を深めるため、屋上広場を改修しました。





ゴムチップで作られた運動場、
広場の周りの自然やベンチ、





盆踊りなど様々なイベントを開催して、





地域の方の交流、





年間延べ36保育所800人の子ども達にも、お使いいただいています。





また、地元小学校で取り組みを進めているビオトープ池をノクティでも設置、





国産木材を利用し「木の良さに気付いてもらう」フードコートに変身しました。



これからも、
ノクティプラザとマルイファミリー溝口は、

環境保護と地域のためになる
施設を目指して、努力を続けていきます。

